

平成24年度 事業報告書

平成24年度においては、JR各社のご助成と鉄道弘済会のご援助により計画した事業を予定どおり実施することができました。

各事業の概況は次のとおりです。

1. 低利融資事業（第一種社会福祉事業）

身障者の生活を維持向上させるため、経済的に援助することを目的として、昭和27年に開始されました。

当時、国鉄から200万円、鉄道弘済会から400万円のご寄付をいただき資金が設けられました。その後、鉄道弘済会からの特別助成等により、現在資金は5,904万円となっております。当年度の貸付件数は、0件であり、これは前年度と比較して4件の減で金額は530万円の減少となっております。

2. 更生相談事業（第二種社会福祉事業）

当年度中に中央及び地方協会が相談に応じた実績は次の通りであり、相談件数の合計は884件でした。前年と比較して10件の増加となっております。

これは、主に東日本協会の共済他相談（通信）が増加した結果です。

相談方法内容別実績表

(24.4.1～25.3.31)

方法・内容	融資	生活	職業	年金	医療	補装具	就学	共済他	計
面接	5	2	0	11	3	72	0	20	113
通信	11	6	3	70	6	82	0	403	581
訪問	0	15	0	11	12	13	0	139	190
計(A)	16	23	3	92	21	167	0	562	884
前年度(B)	15	34	6	80	29	205	0	505	874
増減(A)-(B)	1	△ 11	△ 3	12	△ 8	△ 38	0	57	10

3. 顕彰事業（公益を目的とした事業）

(1) 身障者下山賞表彰は、昭和24年故下山国鉄総裁のご遺族から贈られた寄付金をもとに、国鉄の業務上の事故により身体に障害を負った者の自立の努力による功績を顕彰するために設けられたものであります。

当年度は、第63回を迎え、10月26日弘済会館（東京都千代田区・麴町）において6名の方々の表彰を行いました。

なお、受賞者には協会から賞状と記念品が贈られたほか、JR各社から記念品が、また鉄道弘済会から記念品と賞金が贈られました。

山田光男氏（81歳）	左下腿切断	公傷・4級	（北海道鉄道身障者協会）
白幡トシエ氏（85歳）	両上腕切断	白幡唯法氏の妻	
		業災・1級	（東日本鉄道身障者協会）
本間浩一氏（83歳）	右大腿切断	公傷・3級	（東日本東北鉄道身障者協会）
眞下修氏（78歳）	左上膊・右大腿切断	業災・2級	（東海鉄道身障者協会）
北出正明氏（72歳）	左上腕・左大腿切断	業災・1級	（西日本鉄道身障者協会）
青柳剛二氏（68歳）	右大腿・左大腿切断	業災・2級	（西日本中国鉄道身障者協会）

(2) 鉄道90年記念奨励賞の表彰は、昭和37年鉄道開業90周年の記念事業として設けられた顕彰行事で、当時国鉄から300万円、鉄道弘済会から200万円のご寄付を頂き、これを基金として創設されました。

現在基金は1、133万円となっております。

当年度は、第50回を迎え次の方々が受賞されました。

なお、第4号の懸賞作品の課題は【災害に強く、障害者にやさしい社会について】で、応募総数は54篇でした。入賞と佳作の作品は、当協会発行の障害者福祉専門誌「リハビリテーション」平成24年11月号（No. 548）に掲載いたしました。

「第3号」 善行＝進んで職場を明るくするための奉仕、努力又は社会を明るくする篤行、善行で優秀な者

小島晃治氏（80歳）	左下腿切断	無職	東日本鉄道身障者協会
清寅雄氏（85歳）	右上膊切断	無職	九州鉄道身障者協会

「第4号」 論文または作品＝身障者の福祉を増進する、論文または作品を募集して公表し、身障者のリハビリテーション対策の進歩と充実を図る。

第1位	岡田伸子様	68歳	聴覚障害2級	無職
第50回記念賞	大西賢様	39歳		介護職
第2位	岡部晋一様	74歳	右下腿切断＝義肢・車椅子使用	無職
第3位	若林敏夫様	76歳	難聴 左耳聴力ゼロ、右耳補聴器	塾講師
第3位	井上奈美江様	38歳	全聾（人工内耳手術済み）	障害2級主 婦

第3号の入賞者は、地方協会の会長を通して賞状と賞金2万円が贈呈されました。

第4号の第1位及び第50回記念賞入賞者は辻理事長から、第2位・第3位の入賞者は郵送にて、賞状のほか第1位には賞金15万円、第50回記念賞には賞金10万円、第2位には賞金7万円、第3位には賞金5万円を各々贈呈しました。

(3) 第11回特別功労賞受賞者、地方協会から推薦を受けた候補者について、平成24年9月11日開催の選考委員会において、次の方を受賞者と決定し、10月25日に開催された平成24年度第2回評議員会の席上に於いて表彰式を行なった。

岩島 由和 氏 75歳 前東海鉄道身障者協会会長

(4) 功労賞表彰は、当協会の運営に特に功労のあった人に対する表彰で、平成2年に創設されました。当年度は第22回目で地方協会から推薦された候補者の中から選考して9名の方々を表彰し、地方協会の会長を通して賞状と記念品を贈呈しました。

4. 出版事業

当協会の発行する障害者福祉専門誌「リハビリテーション」は昭和28年に創刊して当年度末で551号を数えます。

発行回数は年10回で1号あたり3,500部発行しております。
当年度発行した各号の特集記事は、次のとおりです。

平成24年4月号 (No542)	障害者の職(能)業訓練①
平成24年5月号 (No543)	障害者の職(能)業訓練②
平成24年6月号 (No544)	東日本大震災、復興の中の障害者①
平成24年7月号 (No545)	東日本大震災、復興の中の障害者②
平成24年8・9月号 (No546)	生活を支援する福祉機器①
平成24年10月号 (No547)	生活を支援する福祉機器②
平成24年11月号 (No548)	懸賞作品特集
平成24年12月号 (No549)	食-たべることの工夫-
平成25年 1月号 (No550)	障害者虐待防止法
平成25年2・3月号 (No551)	特別支援学校における教育と就労

5. 義肢製作費補助事業

鉄道従事者に肢切断による公務障害者が多いことから、鉄道弘済会では義肢を製作する場合に障害者本人が負担する経費を補助する制度を設けていましたが、当協会の会員の利用が多いことなどから昭和62年に制度の移管を受けたものです。

当年度中の取扱件数は68件で、給与した金額は892千円となっております。

これは前年度と比較して件数は6件の増加、金額は59千円の増加となっております。

6. 共済事業

昭和33年に、多くの会員の要望により互助共済制度が設けられました。制度の創設にあたっては鉄道弘済会から500万円の特別助成をいただき、協会が400万円を拠出し会員が加入者負担金等408万円を出し合計1,308万円を基金としたもので、この果実で弔慰金や各種の見舞金の給付を行うこととしています。

当年度中の給付は件数で109件、金額で1,790千円であり、前年度と比較して件数は13件の減少、金額は440千円の減少となっております。

これは前年度と比較して主に災害見舞金が減少したためです。

なお、当年度末の基金は、4,802万円となっております。

7. JR会社増収協力活動

かねてより当協会会員に対し、JR会社への増収協力を呼びかけておりますが、地方協会でも工夫を重ね旅行会を実施する等努力をしております。

当年度中の実績は次のとおりです。

(単位：千円)

期別	件数	延人員	金額
上期分	688	2,118	23,081
下期分	728	1,801	22,173
24年度計(A)	1,416	3,919	45,254
23年度計(B)	1,761	4,267	49,138
増減(A)-(B)	△345	△348	△3,884

資金収支計算書

(自)平成24年4月1日 (至)平成25年3月31日

(単位:千円)

勘定科目	補正予算	24年度決算	増減
経常収入計	53,544	52,583	961
経常支出計	52,869	50,629	2,240
経常活動資金収支差額	675	1,953	△ 1,278
施設整備等収入計	0	0	0
施設整備等支出計	0	682	△ 682
施設整備等資金収支差額	0	△ 682	△ 682
財務収入計	0	0	0
財務支出計	0	0	0
財務活動資金収支差額	0	0	0
予備費	675	0	675
当期資金収支差額合計	0	1,271	△ 1,271
前期末支払資金残高	154,957	154,957	0
当期末支払資金残高	154,957	156,228	△ 1,271

事業活動収支計算書

(自)平成24年4月1日 (至)平成25年3月31日

(単位:千円)

勘定科目	24年度決算	23年度決算	増減
事業活動収入計	51,866	51,123	743
事業活動支出計	50,640	50,620	20
事業活動収支差額	1,225	503	722
事業活動外収入計	1,517	1,650	△ 133
事業活動外支出計	0	0	0
事業活動外収支差額	1,517	1,650	△ 133
経常収支差額	2742	2153	589
特別収入計	0	0	0
特別支出計	20	0	0
特別収支差額	△ 20	0	△ 20
当期活動収支差額	2,722	2,153	569
前期繰越活動収支差額	13,503	10,554	2,949
当期末繰越活動収支差額	16,225	12,708	3,517
基本金取崩額	707	795	△ 88
次期繰越活動収支差額	16,932	13,503	3,429

貸借対照表

平成25年3月31日

(単位:千円)

勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	158,205	155,893	2,312
固定資産	11,132	10,461	671
資産の部合計	169,337	166,354	2,983
流動負債	1,176	936	240
固定負債	0	0	0
負債の部合計	1,176	936	240
基本金	151,228	151,915	△ 687
次期繰越活動収支差額	16,932	13,503	3,429
(うち当期活動収支差額)	3,429	2,948	481
純資産の部合計	168,160	165,418	2,742
負債及び純資産の部合計	169,337	166,354	2,983

注)各表とも、千円未満切捨

財 産 目 録

(平成25年3月31日現在)

社福)鉄道身障者福祉協会

(単位:千円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	63,979
現金	29
普通預金	63,948
三菱東京UFJ銀行・三井住友銀行・みずほ銀行・住友信託銀行	
振替貯金	2
ゆうちょ銀行	
有価証券	88,754
みずほ証券・大和証券・住友信託銀行	
未収金	83
雑誌広告料・購読料・貸付利子	
前払金	304
原稿料4月号分	
貸付金	5,006
貸付金残高	
仮払金	334
共済給付準備金・社会保険料等	
経理区分勘定	443
貸倒引当金	△ 701
流動資産合計	158,205
2. 固定資産	
(1) 基本財産	10,461
基本財産特定預金	10,461
(2) その他の固定資産	671
無形固定資産	671
固定資産合計	11,132
資 産 合 計	169,337
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	423
預り金	308
雑誌代前受金・所得税・社会保険料	
経理区分勘定	443
流動負債合計	1,176
負 債 合 計	1,176
差 引 純 資 産	168,160

注) 千円未満切捨

監事監査報告書

平成25年5月16日

社会福祉法人 鉄道身障者福祉協会
理事長 辻 等 殿

1. 理事の業務の執行状況について

次の理事会における理事の業務の執行状況について把握した。


- (1) 平成24年度第1回理事会 (平成24年5月21日)
- (2) 平成24年度第2回理事会 (平成24年6月21日)
- (3) 平成24年度第3回理事会 (平成24年6月21日)
- (4) 平成24年度第4回理事会 (平成24年9月11日)
- (5) 平成24年度第5回理事会 (平成24年10月25日)
- (6) 平成24年度第6回理事会 (平成24年10月25日)
- (7) 平成24年度第7回理事会 (平成25年2月19日)
- (8) 平成24年度第8回理事会 (平成25年3月14日)

2. 法人の財産について

- (1) 財産目録 (平成25年3月31日現在)
- (2) 貸借対照表 (平成25年3月31日現在)
- (3) 収支計算書 (自平成24年4月1日至平成25年3月31日)

以上、平成24年度の社会福祉法人鉄道身障者福祉協会の事業報告書、財産目録、貸借対照表及び収支計算書については、関連する法令及び通知に従った監査の結果、適正に執行されていると認めます。

社会福祉法人 鉄道身障者福祉協会 監事

杉本貞夫 

監事

奥田明光 